

【 様式 1 - 1 】

苫前町 橋梁長寿命化修繕計画

平成24年3月

(令和4年10月一部改訂)

苫前町 建設課

1. 長寿命化修繕計画策定の背景・目的

1) 背景

苫前町が管理する道路橋は、現在、51 橋（鋼橋 13 橋、コンクリート橋 27 橋、BOX 橋 11 橋）あり、このうち建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は、8 橋で 16%を占める。

30 年後には、高齢化橋梁の割合が全体の 80%以上を占め、急速に増大していく。

今後は、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。



図-1 苫前町における建設後 50 年以上の橋梁数の推移

2) 目的

今後の目的としては、高齢化する橋梁の増大に対し、地域の道路網の安全性、信頼性を確保しつつ、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図る。

また、橋梁点検及び長寿命化修繕計画の方針、修繕優先順位決定の考え方等を体系的に整理し、計画的管理を導入することで、必要予算の平準化を図り、将来の大きな財政的負担を緩和させる。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1 級町道	2 級町道	その他町道	合 計
全管理橋梁数	9	14	28	51
うち計画策定対象橋梁数	9	14	28	51
うち H23 年度計画策定橋梁数	8	14	24	46
長寿命化修繕計画の対象：管理橋梁全 51 橋中、51 橋				

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

管理橋梁を対象とした定期点検を『道路橋に関する基礎データ収集要領（案）』に基づいて行い、各橋梁の損傷状況を把握するとともに、道路機能を阻害する損傷、第三者被害を及ぼす可能性のある損傷を早期に把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施を行う。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 基本的な方針

- ・ 橋梁のおかれた環境条件等から損傷に対する事前予測や劣化予測を行い、予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、トータルコストの縮減を図る。
- ・ 損傷が発生してから対応する事後保全型の管理から、劣化の進行を予測して適切な修繕を行う予防保全型の管理への転換を図る。
- ・ 計画的、効率的な管理の推進による更新時期の平準化とコスト最小化を図る。
- ・ 学識経験者等から意見聴取を行い、長寿命化修繕計画をホームページ等で公表する。
- ・ 点検結果に基づく橋梁の損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行う。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

2) 対象橋梁の状態

- ・対象橋梁の点検・診断結果は、様式1-2による。

3) 対策の優先順位の考え方

- ・診断結果が判定区分レベルⅢに相当する橋梁より優先して対策を行う。
- ・BMSにより算出した優先順位（初期算出結果）を参考に、苫前町における管理橋梁に対する維持管理区分は以下のように考える。

苫前町 維持管理区分の決定根拠

維持管理区分	定義、条件等	対象橋梁（全51橋）
A	市町村道1級	全9橋 南昭和橋、共成橋、幌内橋、 忠進橋、鳴泉橋、修栄大橋、 新川橋、巖根橋、麓橋
	町指定橋梁※	緑恵橋(2級)、南昭和橋(1級)、 幌内橋(1級)、忠進橋(1級)、 鳴泉橋(1級)、修栄大橋(1級)、 岩見橋(2級)、金刀比羅橋(2級)
B	市町村道2級	全14橋
C	市町村道その他	全28橋

※路線の重要性から優先的に修繕対象として町が指定する橋梁であり、これらは維持管理区分をAとする。

4) 新技術等の活用方針

- ・定期点検、修繕等の効率化や費用縮減を図るため積極的に新技術の活用を検討する。
- ・特に2巡目の定期点検で橋梁点検車を使用していた橋梁（51橋の内25橋）については、新技術の活用を検討し、令和10年度までに1,000千円程度の費用縮減を目指す。

5) 集約化・撤去に関する方針

- ・橋梁維持管理の費用縮減を図るため、迂回路が存在する橋梁については集約化、撤去を検討する。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

【 様式 1 - 2 】 による。

6. 長寿命化修繕計画による効果

今後 60 年の修繕・架替え事業費（予防保全型、事後保全型）を試算した結果、予防保全型の累計は約 35 億円、事後保全型の累計は約 85 億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約 50 億円（約 60%）のコスト削減効果が期待できる。

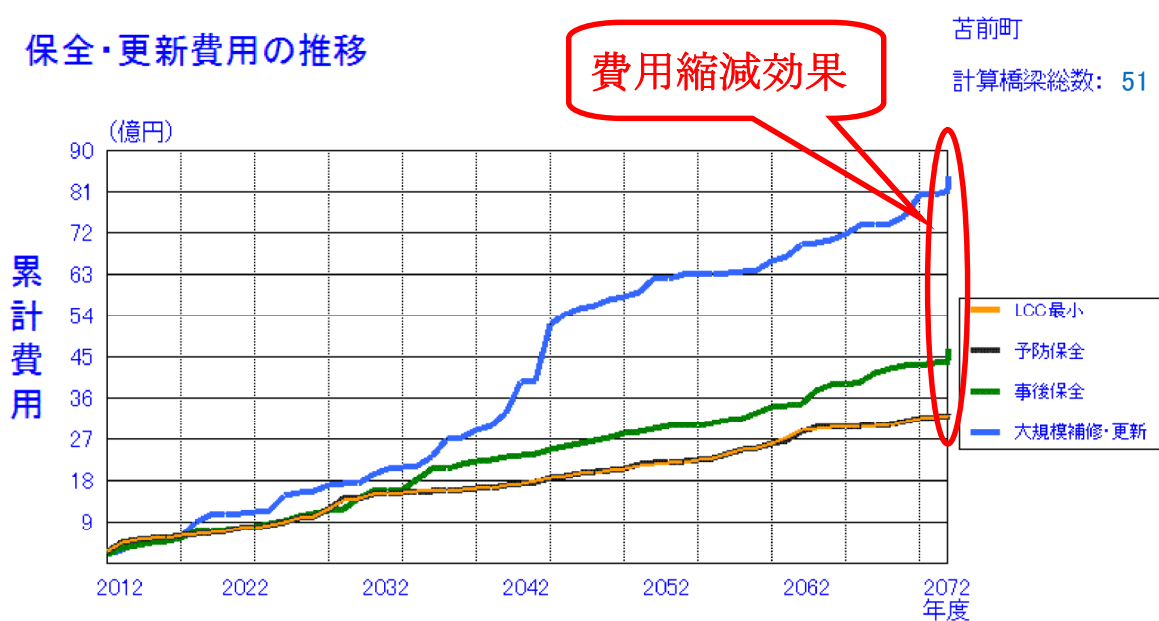


図-2 保全・更新費用の推移（累計費用）

7. 計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者等の専門的な知識を有する者

1) 計画策定担当部署

北海道 苫前町 建設課 技術係

TEL : 0164-64-2315

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門的な知識を有する者

北海学園大学 工学部 社会環境工学科

教授 杉本 博之

【様式1-2】

苫前町橋梁長寿命化策定計画表

←補修時期
←---詳細設計
橋梁点検

Table with columns: 橋梁名, 開発局作業No., 国交省作業番号, 台帳No, 道路種別, 路線名, 橋長(m), 幅員(m), 橋種, 所在地, 架設年度, 供用年数, 法定点検(近接点検), 健全性, 対策の時期 (1-10), 補修費用(千円), 修繕内容, 要素事業名. Rows list various bridges like 緑恵橋, 南昭和橋, etc.

※早期措置段階(健全性Ⅲ)になった時点で計画に加える。